

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

| | | | |
|----------|----|-----|------|
| 大阪市立南住吉小 | 学校 | 児童数 | 132名 |
|----------|----|-----|------|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 14.61 | 16.51 | 31.87 | 34.57 | 41.41 | 9.03 | 137.65 | 18.73 | 48.32 |
| 大阪市 | 15.97 | 18.72 | 32.66 | 38.27 | 45.10 | 9.50 | 147.92 | 20.35 | 51.13 |
| 全国 | 16.13 | 19.00 | 33.98 | 40.60 | 46.92 | 9.48 | 151.13 | 20.52 | 52.59 |
| 女子 | 14.74 | 16.70 | 35.54 | 32.49 | 32.94 | 9.09 | 133.85 | 12.41 | 50.87 |
| 大阪市 | 15.88 | 17.85 | 37.44 | 36.49 | 34.75 | 9.74 | 140.20 | 12.69 | 52.67 |
| 全国 | 16.01 | 18.05 | 38.45 | 38.73 | 36.80 | 9.71 | 144.29 | 13.22 | 54.28 |

結果の概要

今年度は男女ともに50m走以外で市平均・全国平均を下回る結果となった。ただ、全体的に見て大きく下回る種目はなく、平均化したという部分で改善が見られた。コロナ禍による制限が緩やかになり、体育の時間だけでなく休み時間などにおいても体を動かす機会が増えてきた結果だと思われる。また、前年度と比較して体力合計点を見ると、女子ではほぼ横ばいなのに対し、男子では2ポイントほど低くなっている。しかしながら、運動やスポーツをすることを好む児童は男子では97%、女子でも88%を超えている。また「体育の授業は楽しいですか」に対する肯定的意見も男女ともに95%を超えており、今後徐々に体力は上昇すると思われる。一方、1週間の総運動量が60分未満の児童が男子では9%、女子では12%程度見られる。420分以上が男子50%、女子で13.2%いることを考えると、両極化傾向は緩やかになったものの続く傾向にあり、女子では上位群の減少もみられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体力づくりに関しては、これまでも業間の20分休憩や昼休みを利用して運動遊び（鬼ごっこ・長縄など）を中心とした学級遊びを行うとともに、たて割り班で長縄に取り組む「ジャンプアッププロジェクト」（長縄・短縄跳び）などを計画し、運動の習慣化に努めてきた。加えて、今年度はランニングウィークを新たに設けた。また、休み時間には、鬼ごっこやドッジボールなどをして活発に運動する姿も見られ、年間を通じてジャンピングボードを使って短縄跳びに励む児童も多い。さらに、体育専科教員が的確なアドバイスを行うことで、休み時間に鉄棒運動などに励む様子も増えてきた。これらの姿や「運動やスポーツをすることが好きですか」という質問に対し肯定的な回答をする児童が大変多いことから、運動習慣は身につけていると考える。

今後取り組むべき課題は、運動能力の向上である。そのためには、運動が好きという気持ちを大切に、生涯体育につながる「自ら進んで運動に参加する」という内発的動機づけが重要であると考え。児童が楽しく学べる環境づくりとして、できる限り一人ひとりに合った場やルールを用意することやICT機器の活用、そして何よりも人と比べるのではなく、「できなかったことができるようになった」という成功体験を味わわせることを大切にしていきたい。